

議会だより

令和元年

第57号

10月25日発行



ながしま造形美術展が開幕（10月12日～11月10日 太陽の里ピクニック広場）

新たな時代を迎え、圧倒的感動をお届けします。

Contents

- 臨時会・定例会で決まったこと…………… 2
- 町政を問う（一般質問）…………… 7～15
- 2つの常任委員会で議案等審査…………… 16～17
- 所管事務調査報告…………… 18～19

エアコン稼動

一般会計に5517万1千円追加



エアコン設置で授業も快適に



室外機を設置

長島町議会は令和元年第2回長島町議会臨時会を7月31日に開会し、令和元年度一般会計補正予算を可決したほか、小・中学校空調設備設置工事請負契約の変更など議案10件を可決した。

また、令和元年第3回長島町議会定例会が9月6日から19日までの14日間の会期で開かれ、長島町総合運動公園整備工事請負契約の締結や一般会計並びに特別会計の補正予算など、議案15件可決、人権擁護委員選任について同意した。

また、現行の「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末で失効することから、「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」を可決した。



全教室でエ

令和元年度の一般会計補正予算のほか、国民健康保険診療施設、介護保険、簡易水道、農業集落排水、漁業集落環境整備の5特別会計補正予算を常任委員会で審議した。採決の結果、全予算案について原案可決した。

今回、計上された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

○第2回臨時会 (R1.7.31)

災害対策費（重機等借上げ料）	3,800千円
単独災害復旧費（農地及び農業施設）	6,500千円

○第3回定例会 (R1.9.6～19)

第18回ながしま造形美術展テレビ放映委託料	1,320千円
離島航路（幣串～水俣航路）補助金	6,042千円
認定こども園施設整備補助金	6,178千円
地域子ども・子育て支援事業補助金	1,852千円
行人岳トイレ整備に係る地質調査委託料	3,773千円
鷹巣農業集落排水施設維持管理委託料	1,364千円
有害鳥獣対策協議会補助金	3,246千円
森林環境譲与税基金への積立金	3,860千円
加世堂・田尻ため池ハザードマップ作成委託料	6,000千円
農業基盤整備事業（農道仁田元線事業費増額）	4,500千円
県単道路（平尾川床線）事業負担金	3,000千円
浦汐屋茅屋線の整備（事業費増額）	20,000千円
県営事業負担金（指江港・片側港）	28,840千円
小学校エアコン設置に伴う光熱水費	10,464千円
中学校エアコン設置に伴う光熱水費	9,667千円



ながしま造形美術展



農道仁田元線(平尾地区)を整備

臨時会で決まったこと

契約

小・中学校空調設備設置工事請負契約の変更

工種内容に変更が生じたため、3件の議案で1470万1千円を追加する変更契約を議決した。

長島港（本浦地区）の港整備

防波堤改良、基礎捨石工などを行うために、6765万円で(株)長崎組と契約締結することを議決した。

獅子島港（柏栗地区）の港整備

消波工（消波ブロック製作据付）を行うために、5676万円で(株)植村組と契約締結することを議決した。

長島港（伊唐地区）の港整備

1工区は、浮桟橋への連絡橋製作などを行うため、6732万円でティエス(株)と契約締結することを議決した。

2工区は、防波堤の方塊製作などを行うため、1億670万円で(株)長崎組と契約締結することを議決した。

伊唐北漁港の整備

浮桟橋への連絡橋製作などを行うため、5324万円でティエス(株)と契約締結することを議決した。



長島港（伊唐地区）



更新する獅子島コミュニティバス

獅子島コミュニティバス購入

導入後19年経過したコミュニティバスを廃車・更新するため、756万円で南九州日野自動車(株)川内支店と契約締結することを議決した。

定例会で決まったこと

報告

健全化判断比率と資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の定めるところにより、長島町における平成30年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率が報告された。

契約

総合運動公園整備工事

36170㎡の造成工事を行うため6688万円で川床・宮脇・三和特定建設工事共同企業体と契約締結することを議決した。



多目的運動広場



伊唐北漁港

伊唐北漁港の整備

平成30年度から繰り越しとなっていた浮桟橋製作・据付などの工事で、5071万円でティエス㈱と契約締結していたが、工種内容に変更が生じたため、5335万8千4百円（264万8千4百円増額）に変更契約することを議決した。

人事

人権擁護委員候補者の推薦

下平隆康氏（矢堂）が令和元年12月31日で任期満了となることから、中間くるみ氏（指江）を後任として推薦するための諮問がなされたので、適任者として答申した。

条例

税条例等の一部を改正する条例の改正

日本赤十字社所有車両について、軽自動車税（環境性能割・種別割）の非課税車両の範囲を明確化するため。

印鑑条例の改正

住民基本台帳法施行令の一部を改正する政令の公布に伴い、印鑑登録証明書事務処理要領の一部が改正され、旧氏でも印鑑登録が可能となる。

保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の改正

保健福祉センター調理実習室の利用料を定めて施設の利用促進を図るため。

レジャーランド太陽の里設置及び管理に関する条例の改正

消費税及び地方消費税の改正税率を太陽の里等利用料金に適正に転嫁するため。

農畜産物処理加工施設の設置及び管理に関する条例の改正
消費税及び地方消費税の改正税率を鷹巣の農畜産物処理加工施設の利用料金に適正に転嫁するため。



農畜産物処理加工施設



農林水産物処理加工施設

農林水産物処理加工施設設置及び管理に関する条例の改正
消費税及び地方消費税の改正税率を指江の農林水産物処理加工施設の利用料金に適正に転嫁するため。

その他

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末に失効となることから、「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」を議決し、内閣総理大臣等に提出した。

認定

長島町決算の認定

平成30年度長島町決算14件（一般会計、特別会計13件）が議会の認定に付されたので、決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査とした。

町立幼稚園保育料徴収条例を廃止

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が公布され、幼児教育・保育が無償化されるため。

町政を問う 一般質問

一般質問とは・・・

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねます。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけではなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動です。

令和元年第3回定例会（9月）では次の8人の議員が質問をしました。

1 前田 穂 (8ページ)

- ・小規模多機能施設の自己破産に伴う国庫補助金の返納について
- ・長島町のまちづくり「島に陽は昇った」（仮称）の出版について
- ・自治公民館等チャレンジ事業助成金の増額について

2 林 誠治 (9ページ)

- ・長島本島郵便局の各種証明書発行システムの構築について
- ・健康寿命を延ばす「健康ポイント」制度の導入について

3 池田 安彦 (10ページ)

- ・獅子島振興について
- ・町政合併15周年に向けてのイベントの開催を

4 池田 廣 (11ページ)

- ・教育問題について
- ・防災対策について

5 上筋 睦雄 (12ページ)

- ・令和2年度長島町の予算への政策提言について
- ・新しい学習指導要領と、最適教育環境の構築及び支援体制構築に関する提言について

6 浦 弘成 (13ページ)

- ・令和3年4月から庁舎利用の機能を本所・支所方式へ移行されることに伴い、新たな行政課題に対応するための準備など進捗状況は
- ・町・教育委員会の教育行政と学校経営について

7 古田 一博 (14ページ)

- ・高校生を持つ保護者に対し補助金支給を
- ・古いガードレール部分をガードケーブルに取替できないか

8 小田 勝志 (15ページ)

- ・身体障害者（障害児童）のリハビリ施設設置について
- ・交通安全対策について

前田 穂議員



小規模多機能施設の
自己破産に伴う
国庫補助金の返納
は必要なのか

前田議員 六月の行政

報告において、町が三
千万円余り、施設の運
営者に代わって補助金
を返納しなければなら
ないとの説明だった
が、破産法では、自己
破産の場合は返納の義
務はないのに、なぜ町
が返納するのか。

町長 現在、県と協議
したところ補助金適正
化法第22条に該当しな
いので、返納は生じな

ある。今後補助金返納
をしなくて済む方策を
模索していきたい。

前田議員 今後同様の
事案が発生するかもし
れないが、対応はどの
ように考えているの
か。

町長 特に長島独自の
農林漁業等には多額の
国庫補助金が活用され
ている。

町としては補助金の
性質を十分理解した上
で、補助事業者や個人
に対して経営状況の把
握等を密に行い、補助
金の初期の目的が達成
出来るよう指導・助言
を行って、二度とこの
ような事案が発生しな
いように努める。

自治公民館等チャ
レンジ事業補助金
百万円の増額はで
きないか

前田議員 この補助金
は各公民館にとつては
大変有難い補助金であ
る。

館の修理等になると
今の額では公民館の持
出しが増えている状況
である。この補助金は
過疎債のソフト対応で
70%の交付税対象と思
われるので、是非空き
家改修助成金並みの増
額はできないか。

町長 多くの公民館が
利用されており有難
い。額についてはご指
摘のとおりだと思う。

ここ3年間は大型プ
ロジェクト事業があ
り、過疎債も枠が無い
状況であるのでそれが
済んだら考えたい。



旧小規模多機能型居宅介護施設

林 誠治 議員



近くの郵便局で証明書発行を

での証明書発行はできないか。

林議員 高齢化社会の進展に伴い、行政サービスの在り方が問われている。そこで、

町長 ①獅子島郵便局及び鷹巣、指江庁舎窓口での証明書発行の現状は次の表のとおり。

平成30年度 各種証明書発行件数調

	戸籍	住民票	印鑑証明	税務証明	計
獅子島郵便局	31	121	90	31	273
鷹巣・指江庁舎	5,646	5,253	4,393	4,592	19,884
計	5,677	5,374	4,483	4,623	20,157

※平成30年度は20,000件を超える証明書の発行があった。

本島地域からの要望はない

加で「安・近・短」の行政サービスが必要。
②高齢者の運転免許証返納者が増加。
③鷹巣、指江庁舎周辺地域との距離的格差対策が必要。
④町内の郵便局は地域貢献、証明書発行に対応すると回答。

町長 各地域からの声が届いていない段階では必要性等の判断はできない。

但し、光ブロードバンドの有効活用として職員に研究検討させる。

全世代型の健康ポイント制度を

林議員 40、50歳代の働き盛りが健康に関心を深める全世代型の健康ポイント制度の導入はできないか。

①ポイント交換品の充実を、商品券、温泉券、

図書券、食事券等を。
②基礎体力を高めるウォーキングの奨励と歩数計の貸与。
③鷹巣総合運動公園のクロスカントリーロードの無料開放。

ポイント制度で医療費の削減

町長 若者の検診率のアップも期待できるポイント制度を充実させ

てボランティア活動の登録も奨励する。
ウォーキングの効用は実感しているので、歩数計の貸与、クロスカントリーロードの無料開放は検討する。

私自身の経験から健康ポイント制度は医療費の削減が期待できるので、若者にも魅力のある制度づくりに補助事業を調査研究する。



サロンで長島元気GOGO!体操を実践している様子

①獅子島島民の利便性向上のため、証明書を発行している獅子島郵便局及び鷹巣、指江庁舎窓口での証明書発行の現状。
②光ブロードバンドを活用し、獅子島同様本島内の郵便局及び全国のコンビニ



獅子島郵便局・住民票等発行調定調印式

林議員 ①高齢者の増
運転免許証を返納

町長 ②獅子島郵便局での証明書発行は、離島政策として島民、獅子島振興会から毎年強い要望があったが、本島地区住民からは同様の要望や陳情等はない。
全国のコンビニでの証明書発行は、費用対効果の面から厳しい。

池田 安彦 議員



獅子島汽船の更新を

いか。

池田議員 獅子島汽船

は獅子島水俣航路の定期航路として運行している。また、鹿児島県の指定航路でもあり、県及び長島町、水俣市が航路助成を行っている。

しかし近年、使用船舶の老朽化が進んでおり、代替船の導入を早急に検討する時期を迎えている。そこで、今後の獅子島汽船の更新について町長の考えを伺う。

また、運賃割引制度についても継続できな

獅子島マラソンの開催を

NHKのど自慢の誘致を

池田議員 このことに

ついては、先々の獅子島架橋を見据えた大会にできればと思う。

今、獅子島架橋促進に産業開発など進めている。それと同時に、獅子島マラソンを開催

することで獅子島を観光の目玉にできないかということである。

そこで、獅子島ウォークと二大イベントとして開催できないか伺う。

町長 マラソン大会を

開催するとすると大会を支えるスタッフが必要となる。また計画策定までに詰めなければならぬ項目がいろいろ出てくる。

地元の機運を盛り上げていただくことととも、コンセンサスを得ることがまず必要と考える。

池田議員 長島町

は来年、町政合併15周年を迎える。そこで新生長島町を全国にアピールする絶好の機会だ

と思う。

このど自慢を通じて長島町が一体となり、町民同士のますますの親睦を深めるいい機会だと思う。そこでぜひ検討できないか伺う。

町長 県内や全国の市町村も同様の理由で申請してくると思うので、もう一つや二つ、インパクトのあるものを用意した上で誘致を図るべきではないかと考える。



老朽化している獅子島汽船

池田 廣議員



教育問題

- ① 学校統合の今後の計画は
- ② 全国学力テストの評価は

池田議員 小学校は本島4校、獅子島1校、中学校は本島1校、獅子島1校が答申の骨子であったが、中学校において1校案が否決され、今日に至っているが、今後の計画は。また、全国学力テストの評価は。

町長 ① 中学校2校案について委員会から報告があり説明会を実施

した。理想は中学校1校であるが、財政的、場所、時期等非常に難しいので、広く意見を伺いながら方策を調査研究していく。

結果である。学校で結果を分析し、町教育研究会等を通して学力向上に努める。

防災対策

避難指示のあり方と避難所の整備は

池田議員 令和元年5月29日から大雨洪水警報レベルが5段階で運

用されたが、この指示のあり方と避難所整備状況は。

町長 公共施設を指定しているが、災害危険区域外という条件で整備を検討する。

災害時の車、船舶への協力は

池田議員 災害はいつ

水害・土砂災害について、町が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報を5段階に整理しました。 ※ 1

<避難情報等>		<防災気象情報>	
警戒レベル	避難行動など	避難情報など	【警戒レベル相当情報(例)】
警戒レベル5	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 ※2 (町が発令)	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別情報 等
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) ※3 (町が発令)	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 高齢者などは避難	避難に時間を要するかた(ご高齢のかた、障がいのあるかた、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。その他のかたは、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者など避難開始 (町が発令)	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警戒情報 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など (気象庁が発表)	これは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	

※ 1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
 ※ 2 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令。
 ※ 3 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令。

大雨・洪水警戒レベルの5段階区分 (広報ながしま6月号より引用)



改善が望まれる通学路

どこで発生するかわからない、備えあれば憂いなし日々の備えが大切であるが、車や船舶等事業所との関わりは。

池田議員 子どもたちの安心安全のため、危険箇所への設置の考えは。

町長 車については、トラック協会出水支部と応援協定の締結に向けて準備中、バス協会は県が協定を締結している。

船舶は漁協等を通して協力して頂く。又、海上タクシー組合、フェリー2業者の方は、説明会を行ったが協定までは至っていない。

上筋 睦雄 議員



テーマは福祉、
みんなで幸せに

年度内には担当事務局
で研究が立ち上がるよ
うだ。

上筋議員 予算編

成時に次の政策を
提言する。

高齢者、学童に
も利用しやすい車
を。

長島の生活に不
可欠な車。所有し
ない人、免許を返
納した高齢者、運
転できない学童、
誰もが利用しやす
い公共交通システ
ムは。

町長 お金がか
かって難しいが、



オンデマンド交通のイメージ

大丈夫ですが、
長島の自然



何も生えない、枯れた磯！

安全な、安い電氣
を手に入れる工夫
を

上筋議員 環境基本条

例制定の科学的根拠を
得るため、大気、水
質、海浜等の現状を調
査し、住民に公表する
考えは。

町長 環境対策につい
て、できる範囲内で万
全の対策を行っている。

上筋議員 太陽光・風

力・バイオマス・潮力
発電の事業開発や新電
力、安価な電力の購入
策は。

町長 エネルギー対策
については、それぞれ
の部門で研究を進めて

いる。

民宿等の支援は

上筋議員 ホテルが建

たない今、民宿、民泊
の営業・起業者を支援
し、長島滞在者の増加
を。

町長 平成27年に対策
はとった。確認して質
問を。（対策は27年度
で終了）

せっかくの事業
も、町外企業の収
益に

上筋議員 地元の技術

力不足？働く世代のス
キルアップ、再訓練・
就学を援助し、地元就
労年代の知見・技術力
向上の支援を図って
は。

町長 技術の安定・地
元雇用が望ましい。

子ども第一の教育
環境整備を

上筋議員 多様な人と

社会を理解し、コミュ
ニケーション能力、確
立した自己、人として
独り立ちできる人間教
育を目指した、新しい
学習指導要領に合致す
る教育環境整備、あわ
せて学校の統廃合をも
検討すべきでは。

教育長 学校の統合・

再編については研究・
検討を続けていく。

知識及び技術・未知
の状況・困難にも対応
できる力、社会で生き
ていく力を修得した、
世界に通じる長島の子
を目標して教育に当た
る。

その他の質問

・ 防災・減災
・ 非正規職員の賃金
アップ

浦 弘成 議員



支所方式移行に伴う機構改革の進捗状況は

浦議員

①令和3年4

月から庁舎利用の機能を鷹巣本所に移行した場合、全課の配置は可能か。

②図書館をマンダリンセンターへ移設する考えは。

町長

①鷹巣庁舎と開発センターを利用することである。

②図書館の移設は会議室や倉庫等考慮すると移設も検討している。

浦議員

①指江支所に配置される業務内容は。

②指江庁舎活用検討委員会から答申された図書館の移設は。

町長

①総合管理課と教育委員会・農業委員会などを配置する。

②図書館の移設を含め、その他の利活用について、改修と併せて検討する。

浦議員

新たな行政課題に対応するための機動的な人員配置は。

町長 今年4月現在、職員数は152人で最終年度には150人を設定している。臨時職員は現在217人の雇用である。令和2年度から会計年度任用制度への移行や民間委託等の導入を図る。

浦議員

働き方改革の

観点から技術職員の採用増と技術向上のための研修を実施しないか。

町長 募集しているが応募数が少なく平成30年度1人採用した。研修は県が主催する

研修に参加している。

教育行政と学校管理を問う

浦議員

働き方改革を通じて夏休みに学校の業務を休む「学校閉庁日」を町は導入しているか。

教育長

本町では8月11日から17日を、リフ

レッシュウィークとして昨年度から実施している。

浦議員

図書館の図書貸し出しをバーコード貸し出し方式にできないか。

教育長

導入については、メリット・デメリットがあるので、図書利用の皆様の意見を伺いながら研究したい。

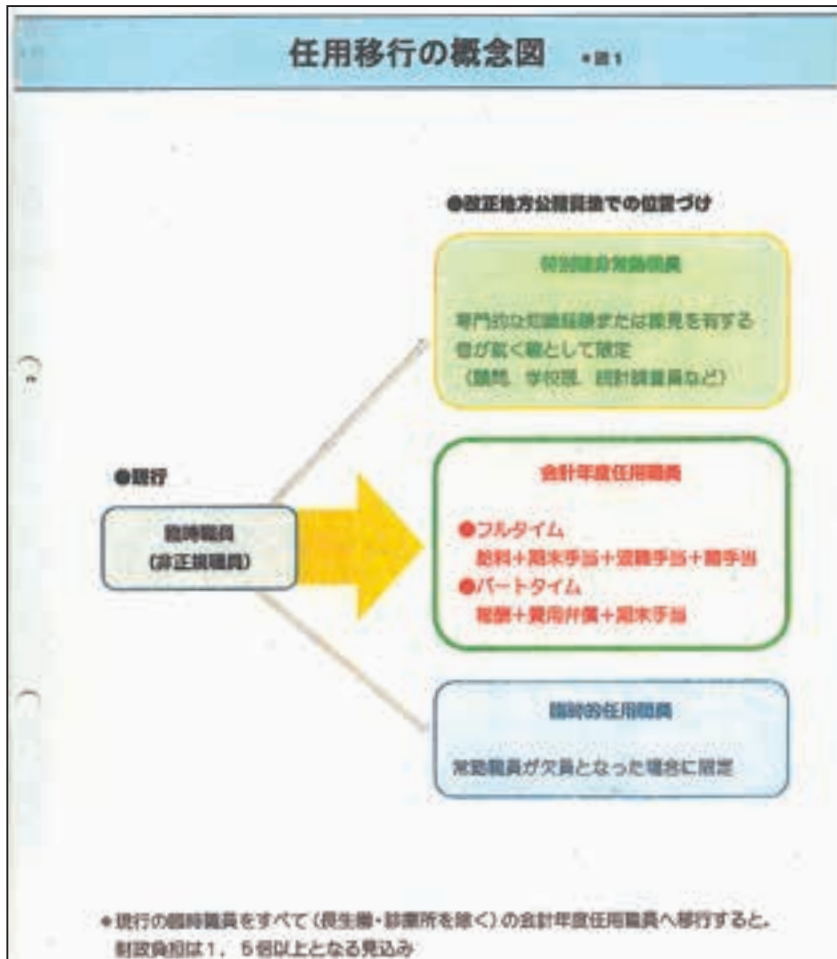
浦議員

中学校の統合再編の今後の対応は。

町長

中学校1校が理想と考えるが、財政や場所時期等非常に難しい問題である。今後は、広く意見を伺いながら方策を調査研究していく必要があると考える。

任用移行の概念図



任用移行の概念図

古田 一博 議員



高校生をもつ保護者に対し補助金支給を

員進学している。

その内62名が出水地区に進学している。町教育委員会

としては、義務教育をつかさどり進路状況など把握している。

古田議員 長島町に中学校5校あり、生徒数は今年280名、5年後には291名、10年後には286名と生徒数には変化がない。

毎年100名の生徒が町外に進学する。高校入学後の通学方法、下宿状況等について把握をされているか教育長に伺う。

教育長 平成31年3月に町内の中学校を卒業した生徒102名が全

町長 合併してから長島町は、高齢者の支援はもとより、給食費の中学生までの無料化など他の市町村に先駆けて実施されている。

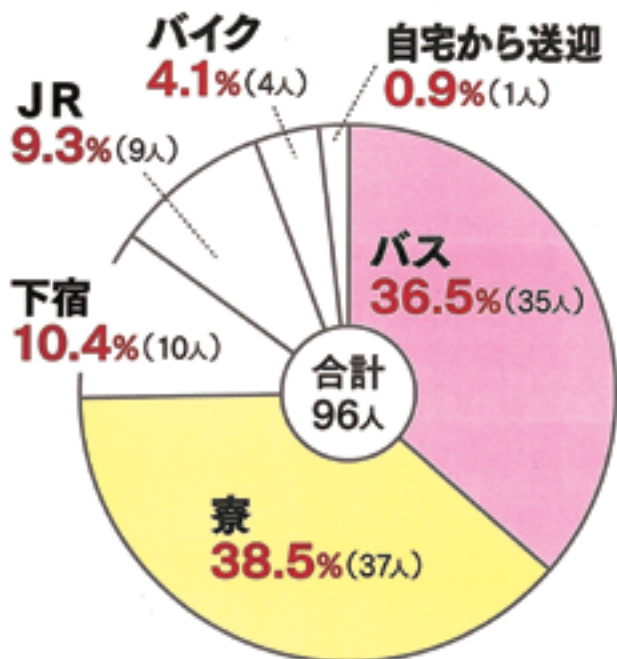
高校生に対する経済的な支援については、総合振興

計画の基本理念である子育て支援策に取り組んでいる。

高校生以上に対する町独自の支援策として、償還金を助成するぶり奨学金制度がある。申込者全員が対象となる。今回について

は、大型事業がここ3年続いて財政運営は非常に厳しい状況である。今はできないが頭の中の片隅にはいつも考えている。実現に向けてできるような方法を、課長・職員一丸となつて模索する。

平成31年3月中学卒業後
高校への通学状況



ガードケーブルへの取り替えを

古田議員 合併してから、長島一周石積みによるフラワーロードを実現され大変好評である。

国道389号線は、東シナ海を望む素晴らしい景観であり、花植え作業される方もガードケーブルがあれば安心・安全で作業ができる。



錆びたガードレール (指江地区)

錆びて、見苦しい沿線のガードレールを早急に取り替えるべきではないか。

町長 県の予算をつけて十分対応していく。

植栽されたツワブキや花々がガードレールに隠れて見づらい。茶色に錆びているところは、県の土木部等と協議を重ね、景観を損なわないような施策をとるよう要望する。

小田 勝志 議員



障害児のリハビリ施設を町内に

小田議員 昨年三月に第五期長島町障害福祉計画・第一期障害児福祉計画を作成している。

この計画の実現には行政だけでなく、町民関係団体、企業等がお互い連携し、取り組むことが大切であると、町長自ら協力をお願いをされている。

計画の中の障害児支援の提供体制のライフステージに切れ目のない支援を提供する体制を構築されている。

①児童発達支援センターの設置並びに児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所の確保は、来年度までに一箇所ずつ設置すると計画の中に明記されている、現在の取り組み状況は。

②公共施設の有効活用の観点からマンダリンセンターに、同施設を設置できないか。

町長

①児童発達支援センターの設置は、阿久根市に二箇所、出水市に一箇所設置されており、これらの施設は広域的に利用可能なこ

とから、喫緊の課題と捉えていない。児童発達支援事業所及び放課後等デイサービスの確保は、町内の通所支援サービス事業所きつずぽんぽこを初め児童発達支援事業所が7箇所、放課後等デイサービス事業所が11箇所、阿久根市、出水市にあり、事業内容により町外の施設も利用されている現状である。

施設の設置については町内のニーズを調査、把握し慎重に対処する。

振興計画は大きな目標を掲げて、それを実現するよう努力するのが計画である。

②地域全体のバランスが崩れて、長島に施設が必要。運営も可能な状況であれば、総合的に検討していく。

ドライブレコーダーの設置を

小田議員

あおり運転対策として公用車にドライブレコーダーを設置する考えは。

町長

今年度マイクログバス6台、長生園の2台、計8台設置する、今後は緊急性の高いものから順次予算化していく。



児童発達支援センター

2つの委員会で議案等審査

2つの常任委員会で議案等を審査
各委員会の主な審議内容を紹介

総務民生常任委員会 委員長 林 誠治

●一般会計補正予算

4・40%と定めている。

▼企画財政課関係

問 山門野コミュニティセンターの外壁調査委託費の内容と、山門野公民館に譲渡する時期はいつか。

答 幣串く水俣間の離島航路補助金の負担割合はいくらか。

答 委託費は、センター内の広間を拡張するための強度調査費。

また、合併した山門野公民館には主要な改修工事が完了した後に譲渡する。

幣串く水俣間の離島航路補助金の割合は、県が65・77%、長島町が29・90%、水俣市が

▼介護環境課関係

問 地域包括支援の電算システムで特別会計は補助対象、一般会計は単独事業となつている理由は何か。

答 特別会計のシステムは、介護認定者のみを対象とし、一般会計分は介護認定者以外も含むシステムであるためである。

▼福祉事務所関係

問 子ども・子育て支援事業の延長保育等で勤務する保育士の年齢別配置状況は。

答 0歳児3人に1人、1〜2歳児6人に

1人、4歳児以上30人に1人の保育士が必要である。

●条例

▼長島町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

問 今回の条例改正は日本赤十字社の所有する軽自動車等に対する非課税の範囲を定めるとあるが、長島町にその対象となる車両はあるか。

答 長島町には対象車両はない。
県内では鹿児島市、薩摩川内市、霧島市に対象車両がある。

▽委員会の意見

町管理施設の山門野コミュニティセンターは、合併した山門野公

民館に譲渡する協議がなされたと聞く。
合併後、期間も経過しているので改修工

を早急に進め、一日も早い公民館利用に資するべきである。



早急な公民館利用が望まれる山門野コミュニティセンター

建設経済文教常任委員会 委員長 小田 勝志

●条例

▼レジャーランド太陽の里設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

問 太陽の里の昨年度の利用状況は。

答 宿泊者は平成30年度が5896人、売上高3773万円、平成29年度が4094人、売上高2838万円、30%伸びているが、宴会費は微減、温泉入浴客数は横ばいである。

▼長島町農畜産物処理加工施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

▼長島町農林水産物処理加工施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

問 農畜産物処理加工

施設及び農林水産物処理加工施設の利用料金の値上げについての考え方は。

答 利用料金は過去の消費増税時に、光熱水費や材料費が上がった際に改定されていたことから、これを踏まえた改定である。

●一般会計補正予算

▼農林関係

問 森林環境譲与税基金は具体的にどのような事業を行うのか。

答 今年度は林地台帳管理システム整備により、山林の所有者調査を行う。

今後、間伐や路網等の森林整備に加え、人材の育成、担い手の確保、木材利用促進や普及啓発を行う。

▼耕地関係

問 ため池ハザードマップは、町内全域で作成するのか。

答 町内のため池は15箇所あり、その内人家や公共施設に接しているものは、ハザードマップを作成する必要がある。

重点ため池は8地区あり、本年度3地区、令和2年度に5地区の作成計画である。

▼建設関係

問 スマイルプラン事業は、各公民館からの要望で緊急性の高いものから事業を行っていると思うが、他地区からの要望についての対応はどうか。

答 継続で来年度までかかる地区や町長相談での要望箇所等、他課との調整を図りながら予算の枠内で調整する。

▼教育総務課関係

問 小中学校エアコン設置に伴う電気料は、半年で2千万円の計画であるが、年間の電気料金見込み額はいくらか。

答 年間の電気料金は小中学校あわせて概算で5千万円を見込んでいる。

問 学校のトイレ改修は、環境改善交付金を活用するが、実施予定はいつからか。

答 今年度は川床小学校、鷹巣小学校、長島中学校の合計62基を洋式化する。他の学校は来年度以降交付金の要望を行い整備を進めていく。

▼景観推進課関係

問 行人岳トイレ整備にかかる地質調査は、当初予算では計上されていないが、今回、町で地質調査する必要があるのか。

答 トイレ新築は県で行う。敷地整備は電源立地交付金を活用し、町での整備となるため、地質調査の結果を県に情報提供するため。

●簡易水道特別会計補正予算

問 上水道移行に伴う料金改定にかかる指導助言の委託業務の内容は。また、償還利子のこの時期での計上理由は。

答 上水道移行に伴う業務は行っているが、中長期計画を立てるため、過去3年間と今後10年間の経営状況を算出し、移行後の職員配置等経営のシミュレーションを作成するための指導助言の業務である。

償還利子は、平成30年度起債借入額確定に伴い、今回の予算計上となった。

▽委員会の意見

平尾地区の造形物展示場施設取得用地は、幹線道路に接しているため、展示する際には交通の妨げにならない様十分留意すべきである。

造形物展示予定場所（平尾地区）



造形物展示予定場所（平尾地区）

木材を活用した 公共施設を調査

総務民生常任委員会
委員長 林 誠治

屋久島の地杉を活用、優しさともぐもりのある新築庁舎

○はじめに

総務民生常任委員会は、令和元年7月18日から19日の両日、熊毛郡屋久島町において所管事務調査を実施した。屋久島は遠い遠い外海離島のイメージがあったが、県都鹿児島市までは長島とほぼ同じ2時間弱で屋久島宮之浦港に到着。

高速船の効果で観光

客の入込客も横ばいで推移していると、地元民宿経営の乗客が喜んでた。港から15分、旧小瀬田小学校跡地に建設された新庁舎に到着。

屋久島町は、平成19年10月、旧屋久町と上屋久町が合併。町内には24集落が100^〇圈内に点在、2次離島の口永良部に2集落ある。

○なぜ、木造庁舎にしたのか

屋久島は、代表される杉を象徴する島でありながら、屋久島地杉の建築用材活用は11%しかなく、島内では殆んど流通していない現状にある。



木材利用について質疑をする委員長

そこで、「屋久島町庁舎建設検討委員会」が設置され、島内産材を活用した木造庁舎と決定した。

○基本設計コンセプト（徹底した地元主義）

①屋久島の大自然と環境を住民の基本資源と認識し、屋久島の地杉と人材を最大限活用した木造庁舎建設であること。

②地域資源と地元工務店、人材の活用を通じ、林業、木材産業の活性化、庁舎建設を契機として屋久島の地域づくりに繋げる。

このため、平成27年2月から2年かけて国有林の分収造林地の5・5畝を皆伐、杉6500本を伐採し、原木2400^〇m³の製材加工は全て島内の製材所が加工、ストックヤードの天然乾燥、品質管理など地元主義を徹底

したことも島民の理解を深めたそうである。

○庁舎の特徴

新庁舎は、窓口棟、事務棟、フオーラム棟、ホール棟の4棟が中庭を囲み回遊動線で結ばれている。台風常襲地、厳しい風雨に対処するため平屋主体で軒を低く深く、屋根はシンブルな切妻、外壁は耐久性のある立板張りです。屋久島らしさを追求している。

○議事室には机・椅子が無い

ホール棟にある議場は、議会のない期間は講演会、展示会、コンサートなど多目的ホールとして町民に開放するため、固定の机・椅子等一切ない点も注目すべきである。

屋久島の庁舎建設は、長年眠っていた分収林の活用で地区民に



ワンフロアの庁舎執務室

大きな利益をもたらす、新庁舎で使用する机・椅子・書庫等の家具一切は町内加工業者が製作納入している。経済効果は将来の維持費を含め計り知れないのではないかな。

○総建築費23億6千6百万円

庁舎は、平成30年3月完成。全体事業費が23億6千6百万円。

財源として木造公共施設整備事業補助金4%、およそ9千3百万円が町民が利用できる窓口棟、町民ギャラリー、住民相談室等がある住民開放施設のフオーラム棟に交付さ

れている。

木の温もりと柔らかさ、優しさは木造建築の良さとして長年一般住宅では支持されてきた。近年ではトラス工法や軸組工法が中心にCLT部材の活用等で耐久性のある大型木造建築が可能となった。

○新築する鷹巣診療所にも木材活用を

本町においては、町民が待望していた町立鷹巣診療所の新築が始まるが、診療所内部に木の優しさ、ぬくもりに満ちた空間があれば患者の心を癒し、治癒力を高めてくれるのではないかと期待する。今後、本町のコミュニケーション施設や学校統合などの建築にも、木造建築を選択肢に取り入れていいのではないかな。

「バレイショ研究、水産種苗」の取り組み

建設経済文教常任委員会
委員長 小田 勝志

建設経済文教常任委

員会は、8月1日に長崎県雲仙市愛野町にある長崎県農林技術開発センターのバレイショ研究の取り組み、2日には佐世保市水産センターの水産種苗生産の取り組みについて、所管事務調査を実施した。

○バレイショ研究

長崎県には茶業や果樹など部門ごとに分かれた農林技術開発センターが6箇所ある。愛野町のバレイショ

研究施設は6人の研究員3人の作業員で構成され、ここ数年の研究の主なものは、

- ・土壌病害に強いバレイショの品種育成
- ・四月出荷量増加のためのバレイショ「アイマサリ」の安定生産技術確立
- ・シストセンチュウ抵抗性品種育成の先導的技術開発

- ・ドローンを利用した農薬散布有効試験

などを研究しており、この中で「アイマサリ」は長崎県期待の新品種とされている。

病害虫対策の「そうか病」は、国内には3種の病原菌が存在しており、土壌、種イモから伝染するとされている。

外見が健全な種イモでも伝染している可能性があるので種イモ消毒は励行し、圃場も土壌pHの調整、土壌環境

を良好な状態にする必要がある。

同じ圃場での連作は避け、空いた圃場にはイネ科の植物を植え付けると、青枯れ病がでにくくなるとの事。

近年長島の圃場にも植え付けてある「ひまわり」はリン酸を減らす作用等があり、そうか病対策に繋がるのではと思われる。

長島地区の土壌pHは4前後が基準であるが、バレイショ畑のpHは基準値より低い場合が多く見受けられるので土壌消毒、pH管理を徹底することでそうか病の予防にも繋がる。



バレイショ研究について質疑をする委員長

今後長島町が目指しているバレイショ種子生産に向けて以上のことを参考にしながら、病害虫に強い種子生産を目指すべきである。

○種苗生産の取り組み

佐世保市水産センターの設立目的として、重要な水産物の種苗を大量に生産し供給することにより、栽培

漁業を供給する拠点施設として設置。

昭和41年に他地区で開設し、トラフグ、ガザミの種苗生産、ハマチの養殖試験、ワカメ種子の培養、後にクルマエビ、アワビ、マダイ、イシダイ等の種苗生産を手掛けていた。

しかし、施設の老朽化と需要拡大に対応するため、昭和62年に現在の場所に新築移転した。

水産動植物の種苗生産供給・増養殖技術の

開発普及・養殖、栽培漁業の啓蒙、普及・漁病診断と防疫対策の四つの柱を中心に現在、ヒラメ、カサゴ、オニオコゼ、クマエビ、タイワンガザミ、アカウニ、ナマコ、アワビ、イワガキ、マガキ、アカマテガイ、アサリ、藻類等の13種類の種苗生産に取り組んでいる。

クマエビ生産時にクルマエビ水槽から、動物性プランクトンが発生することが分かり、これを餌にするカキ、アサリ、藻類などに年間1億円の餌代の経費節約に繋がり、この研究成果が国に認められ多くの補助金が支給された。

また、マガキについては種板と呼ばれるホタテの貝殻に種苗を育てる方法で年間30万个、イワガキも3万6千個生産し、佐世保市

の漁協にも種苗提供し、冬場はマガキ、夏場はイワガキと一年中カキが食べられる環境となり、佐世保市の水産業の要になっている施設である。

これも魚種を固定せず、漁業者が効果を認めるものを継続しており、魚種の変化に対応できる多目的な利用が可能な水槽、施設が求められていることから、今年度に施設の改修基本設計、来年度より年次的に整備予定である。

長島町も水産業はブリ養殖を初め町の活性化に繋がる産業、今後イワガキ、海藻類等の無給餌養殖の技術も取り入れながら、長島の特産の一つである養殖マダイの種苗生産を確実にし、この施設の技術も取り入れながら、長島特有の種苗生産に繋げる。

議会のうごき

7月

3日	阿久根地区消防組合議会臨時会
7日	三地区親善体育大会（阿久根市）
8日	第1回広報特別委員会
9日	南九州西回り自動車道建設促進期成会役員会（出水市）
10日	出水地域開発促進協議会総会
11日	正副議長研修会（鹿児島市）
12日	第2回広報特別委員会
16日	あづま海水浴場安全祈願祭
17日	監査委員による決算審査（30日まで）
18日	阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）
19日	総務民生常任委員会所管事務調査（屋久島町）
22日	例月現金出納検査
24日	議会運営委員会
25日	北薩広域行政事務組合議会第2回定例会（出水市）
25日	町戦没者追悼式
25日	「サンセット牛之浜景勝地」道の駅整備促進協議会第2回協議会（阿久根市）
26日	県町村監査委員協議会臨時総会及び監査委員・補助職員研修会（鹿児島市）
27日	葛輪漁港埋立工事着工式
30日	監査委員による工事事務監査
31日	第2回臨時会

8月

1日	建設経済文教常任委員会所管事務調査（雲仙市・佐世保市）
2日	農業競争力基盤整備事業・浜瀬仁田原地区起工式
5日	北薩空港幹線道路・南九州西回り自動車道に係る中央要望（東京都）

9月

7日	県町村議会議長会理事会（鹿児島市）
8日	市町村政研修会（鹿児島市）
9日	県後期高齢者医療広域連合議会第1回臨時会（鹿児島市）
16日	北薩3市2町医療体制確保推進協議会第3回総会（薩摩川内市）
18日	町商工会第19回夏まつりチビッ子広場
21日	例月現金出納検査
22日	阿久根地区消防組合議会第1回臨時会（阿久根市）
23日	阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）
23日	三町（さつま・湧水・長島）議会議員合同研修会
24日	水産の日行事
24日	第34回カヌー長島海峡横断大会
26日	「サンセット牛之浜景勝地」道の駅整備促進協議会要望（鹿児島市）
27日	「サンセット牛之浜景勝地」道の駅整備促進協議会要望（福岡市）
28日	議会広報研修会（鹿児島市）
28日	桃源郷祭り
28日	三県架橋構想及び九州西岸軸構想推進中央要望（東京都）
29日	望（東京都）
30日	獅子島架橋建設促進期成会理事会
2日	令和元年第3回長島町議会定例会に係る議会運営委員会
6日	第3回定例会開会（19日まで）
8日	中学校体育大会
20日	例月現金出納検査
23日	運動会・体育大会（獅子島幼・小・中）
24日	後期高齢者医療広域連合例月出納検査・定期監査（鹿児島市）
26日	杉ノ段招魂祭
27日	阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）

編集後記

どこまでも高く、すみきった青空の下、稲田は黄金色に輝き、太陽の里広場では、各地区、団体の団結と努力の作品群が、見る人を魅了してやまない造形美術展、長島は恵まれた「秋」を迎えることができました。

他方、各地ではスーパー台風19号のため、多くの方々が甚大な被害を受けられました。ただただ、お見舞いの限りを尽くすのみです。さて議会広報特別委員会（議会だより編集委員会）では、読んでもらえる「議会だより」を目指し、引き付ける「見出し」、簡潔な文章、専門用語の排除、対話形式を取り入れる、可能な限り視覚に訴えるなど、いろいろな工夫を試みています。

今後は、紙面の許す範囲で「読む人の意見」も掲載してはとの案も。「読者」の意見、感想などももらえるようになれば、さらに進展できるのではとの思いです。「みんなで育てる魅力ある広報誌づくり」に努めていきます。（上筋）

【発行責任者】

議長 林 義明

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 児玉 誠
副委員長 上筋 睦雄
委員 二階堂 猛
委員 小田 勝志
委員 林 誠治



長島町議会だより

■発行／長島町議会

☎899-1498

鹿児島県出水郡長島町鷹巣1875-1

■編集／議会広報特別委員会

☎0996-86-1145

FAX0996-86-0950

URL <http://www.town.nagashima.lg.jp>